

# 弾性ストッキングの着用をすすめられた方へ

## -弾性ストッキングの正しい使い方についてのお知らせ-

日本静脈学会 弾性ストッキング・コンダクター養成委員会より

### 弾性ストッキングにはどのような効果がありますか

弾性ストッキングは足の静脈の血流を改善し、血管の中で血が固まる病気が起こるのを防ぐ働きがあります。この効果は、手術を受ける患者さんと飛行機に乗っておこる静脈の血栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）で明らかにされています。

### 弾性ストッキングの使用が必要とされる状態

新潟県の中越地震のときにも、肺血栓塞栓症が避難生活中に起こることが報告されました。弾性ストッキングはこの時から、血栓症を防ぐために地震の時にも使用されています。地震のときにどの程度の予防効果があるかはよく分かっていませんが、弾性ストッキングは十分な運動のできない方に用いると足の静脈の血流を改善することは明らかです。

また身につけるだけで、薬のようにのまなくても体の外から血流を改善する効果があります。今回弾性ストッキングを渡された方は、担当の先生がもう一步踏み込んだ予防が必要と考えられ渡されたと思います。このパンフレットを読んで正しく弾性ストッキングをお使い下さい。

### このようなきには使用しないで下さい

①足がとても冷たくあるいは痛む、長く歩くと足が痛むような動脈のつまる病気のある方、②足に大きなけがや膿を持っている方、③すでに血栓症が起こりのみ薬による治療を受けておらず痛みの強い方、④皮膚が弱くすぐにかぶれるあるいは湿疹のある方、⑤ナイロンのアレルギーのある方、⑥心臓病で心臓が十分働いていない方（心不全）には着用できないと思われます。また、身につけたときに違和感のある時はすぐに脱いで、医師や看護師に相談して下さい。

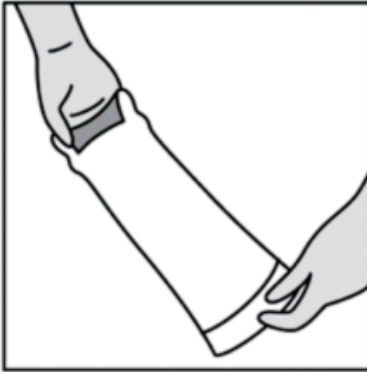
### 弾性ストッキングの正しい、はき方、はかせ方

弾性ストッキングは圧迫するために硬く、はきにくいものです。裏面の履き方をよく見て無理なく着用して下さい。

# 弾性ストッキングの正しいはき方



右手をストッキングに挿入して踵（かかと）の部分を内側からつまみます



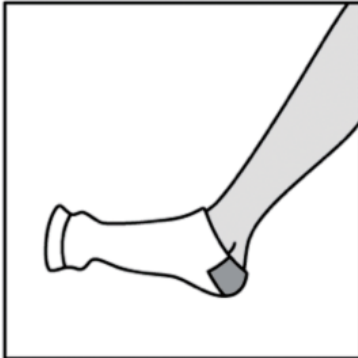
左手で上端を踵部分まで裏返し折り返した状態にします。



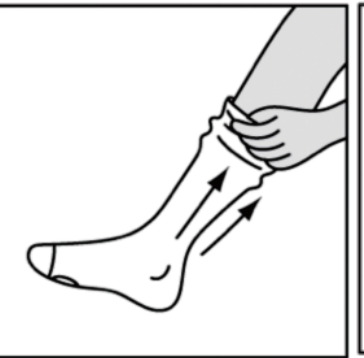
折り返した踵部分を広げます



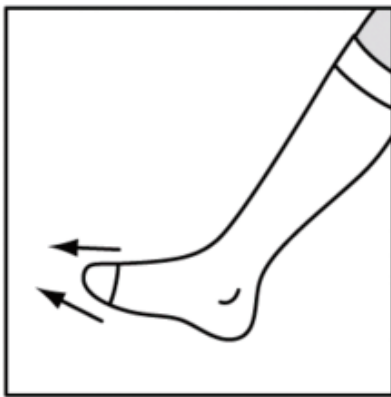
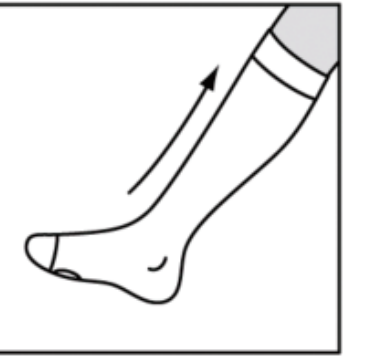
前後を間違えないようにつま先からかかとへ向かって着用します



かかとの部分を乗り越えるまで履くことができれば、裏返し部分のストッキングを足首の部分まで上げます



ストッキングの裏返しになった部分を上端までたぐりよせてまとめてつかみ、広げながら膝下までしわができないよう注意しながら均一に履きます

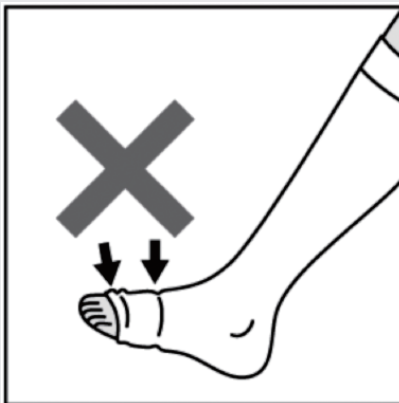


で寿あがったらかかとの位置やしわの有無を両手でなでて、もう一度確認します。つま先部分をすこし引っぱりゆとりを与えます。

## このような履き方にならないよう注意しましょう

つま先をモニタリングホールから出すと指先の血行障害（血のめぐりがわるくなる）や皮膚炎、かぶれを起こすことがあります

ストッキングの上端部が丸まると2～3倍の圧力がかかり、皮膚炎やかぶれ、むくみなどをおこしやすくなります



## 弾性ストッキングの手入れについて

弾性ストッキングは分厚い分どうしても蒸れやすく、ずっとはき続けると水虫になったり、かぶれや皮膚炎を起こします。1日2回一旦ぬいで足に異常がないか確認して下さい。そのときには汚れを洗濯できれば、なおよいと思われます。洗濯でストッキングがないときは足を少し持ち上げた状態にするとよいでしょう。

## 特に注意したいこと

弾性ストッキングは正しく使用しないとかえって足の調子が悪くなる場合があります。かかとの位置を間違えない、折り曲げない、しわを作らないなど特に注意しなければなりません。正しく使ってよりよく静脈血栓症を予防して下さい。